

事業所名

アニーの家（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

1日

法人（事業所）理念	『顔をいつも太陽の方に向けていて。影なんて見ていることはないわ』これは奇跡の人と言われたヘレン・ケラーの言葉です。ヘレンがいろんな体験をしてもっている力を開花させていったように、アニーに来られているお子さんも、もともとある力を開花していただけたらと思います。安心してリラックスできる環境を整えれば、自ら本来の力を発揮し、周りにも自分にも優しくなれると考えます。遊びや学習、畠仕事体験、地域の方との交流、季節の行事を通して、たくましく育ち土台をつくっていきます。お子さんの素晴らしい面を、一緒に見つけていきましょう。						
支援方針	家族や友だちなど、関わる人と良い人間関係を作ったり、コミュニケーション力を養うこと、社会のルールを覚えること、自分の能力や強みを活かして生活していくことを重視します。お子様ひとり一人の将来の社会生活をイメージ・意識しながら、総合的な支援を提供しています。						
営業時間	11時	0分から	18時	35分まで	送迎実施の有無	あり（なし）※必要により送迎もいたします	
	支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を築くための支援を行います。 清潔な身の回りや、衣類の脱着、排せつ、準備や片付けなどの基本的な生活技能を獲得できるよう支援します。 また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化します。					
	運動・感覚	運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。 日常生活に必要な運動・動作の基本的技能の向上により、力加減や、体の動き、気持ちの切り替えやコントロール等、場面や周囲の環境状況の理解にも繋がります。					
	認知・行動	有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促します。 環境から情報を取得、選択し、行動につなげる認知過程の発達を支援します。 認知の特性を踏まえ、情報処理や認知の偏りに対処し、個々の特性に合った支援を行います。 感覚や認知の特性から生じる行動障害の予防や適切な対応を支援します。					
	言語 コミュニケーション	具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付け、体系的な言語習得や自発的な発生を促進します。 イラスト・写真・絵カード・記号などを用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする能力を支援します。 特性に合わせた読み書き能力の向上を支援します。					
	人間関係 社会性	自己の行動や感情を理解し、気持ちのコントロールができるように支援します。 集団での活動や友達同士での適切な関わりを通し、よりよい人間関係の構築を支援していきます。 挨拶やマナー、ルール等社会生活で必要なスキルを身に付けながら集団活動の中で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切にした行動を選択できるよう一緒に考えます。					
家族支援	困りごとが発生した際又療育終了後にての面談・相談の機会を設けて対応させて頂きます。	移行支援	ご希望に応じて中高生向けの放課後等デイサービスの情報を共有します。				
地域支援・地域連携	ご要望により学校訪問を行い、保護者、関係機関との情報共有を行います。ハロウインなどの行事や救急救命や消防訓練研修会に地域の方を交えて情報交換を行っています。	職員の質の向上	月2回定期的に事業所ミーティングを行っています。その中で、虐待防止や身体拘束禁止、業務継続、感染対策の研修を行っています。 TEACCHプログラム研究や岡山市部会の川崎医療福祉大学の重松先生に職員研修を毎年依頼しています。各種勉強会や研修への参加を行っています。 又岡山大学大学院教育学研究科佐藤教授の講演の内容を共有しています。				
主な行事等	季節の行事 避難訓練（毎月） 七夕 夏祭り お月見製作 ハロウインパレード 秋祭り クリスマス制作 しめ縄飾り製作 保護者向けの講演会						